



▲人形の着色作業

水で溶いたものを使います。「アクリル絵の具を使うのは簡単ですが、伝統が失われ

「江戸時代から変わらない製法の鵜渡川原人形は酒田の文化遺産。先輩方の知恵と技術を残したい」と語る本間さんと松浦さん。本市に伝わる土人形、鵜渡川原人形の職人として、人形の制作と伝承に取り組んでいます。

江戸から伝わる文化遺産



Honma Mitsue 本間光枝さん  
Matsuura Masako 松浦正子さん  
鵜渡川原人形伝承の会

さかたの風

今月の人

伝統を守り、伝える

てしまいますから」と、江戸時代から伝わる製法をかたくなに守り続けています。

二人が同人形の制作と伝承に携わるようになったきっかけは、市立資料館主催の体験会。「作るだけが目的ではなく、伝統文化の伝承に対する使命感を感じていました」と、当時は振り返ります。

二人は、本間美術館での展示販売、秋田県「八橋人形」との交流、松原小、亀ヶ崎小での人形作り指導などの普及伝承活動に取り組んでいます。子どもたちには「技術は盗みなさい」と教えているとか。「学校では学べないことを学んでほしい。そして大人になったとき、ふるさとの土人形のことを思い出してくれれば」と、優しい笑顔が印象的です。

現在、鵜渡川原人形伝承の会会長は、慶応義塾大学法学部教授の横山千晶氏。同氏は、研究や講演活動を通じて、鵜渡川原人形や酒田をPRしてくれているとのこと。二人は「横山会長と一緒に、鵜渡川原人形や酒田の文化を、国内外に発信していきたい」と語ってくれました。北風が厳しく冷え込む冬場は、人形制作に最適な季節。二人の筆は、そっとやさしく人形に命を吹き込みます。

旬の食材を使った料理を酒田市食生活改善推進員が紹介します

酒田の旬

20

黒豆なます



【材料】(4人分)

- 大根..... 250g
- 黒豆..... 25g
- 砂糖..... 70g
- 酢..... 200cc
- 塩..... 少々

毎年12月9日の「大黒様のお歳夜」では、ハタハタの田楽、納豆汁などと共に「肌が黒くなるまでマメ(健康)に働けますように」と黒豆料理をお供えする風習があります。今月は、黒豆料理のひとつ「黒豆なます」を紹介します。

【作り方】

- ①黒豆は皮がむけない程度につぶし、洗っておく。
- ②大根は皮をむいておろす。ザルに取り、汁と分けておく(汁は残しておく)。
- ③鍋に①、②の汁、酢を入れて弱火で15分程度煮る。
- ④黒豆の青臭さがなくなったら砂糖と塩を加える。煮溶けたら火から下ろし、よく冷ます。
- ⑤冷めたら、②の大根おろしと混ぜる。

食生活改善推進員からの

ワンポイント

大きい豆は包丁で切ることもできます。

東北公益文科大学

キャンパスレポート

44

入れ替え戦を勝利し2部南リーグへ

長南 直樹(3年)

11月8日に「東北バレーボール大学男女リーグ戦」秋季リーグ入れ替え戦が行われ、2部南リーグ6位の日本大学工学部にセットカウント3-0で勝利し、2部南リーグへ昇格することができました。

今年度春から強化指定部となり、川越立裕監督を迎え本格始動した男子バレーボール部。春季リーグ、秋季リーグともに全勝優勝し、入れ替え戦も勝利、今年度の目標である2部南リーグ昇格を達成しました。私は今シーズン、キャプテンという責任ある立場に就き、チームをまとめる苦労やコミュニケーションの大切さなどを経験することができました。



▲大躍進を支える選手たち

この貴重な経験を来年度の就職活動やこれからの社会人生活に生かしていきたいと思っています。そして来年度の春季リーグ戦ではより一層チームワークを高めて優勝を目指し、念願の1部リーグに昇格できるように頑張りたいと思います。

関東北公益文科大学広報担当 ☎41-1117



市内企業の優れた技術力や製品、サービスを紹介します。

vol. 32



本社工場



代表取締役 進藤 誠さん

ものづくりに誠実に向き合うことを大切にしています

## 木製品のメイクアップ一筋

当社では木工家具などの一般塗装から高級磨き塗装まで、あらゆる塗装と塗装修理（化粧直し）を職人が手作業で行っています。

最近では自社オリジナル木製品の製作にも力を入れており、市内の木加工会社や印刷会社と協力して、キャラクターを使用したボックスチエアの製造販売も行っています。大量生産では成し得ない、お客さまの思い出に残る製品を、一つ一つ丁寧に作ることがモットーです。

## 素材を知り尽くした職人の技

木材の塗装は、研磨と塗装の繰り返して、回数が多いほど高品質になります。まず木材をサンドペーパーなどで研磨して凹凸を取り除きます。次に塗装ですが、一口に「黒」と言っても、色の深みや艶など、種類はさまざま。塗料を調合してご注文の色と質感を作り出し、塗装していきます。いったん乾燥させた後、塗装面を研磨して整え、再度塗装します。

木材や塗料はその日の気温や湿度によって状態が変わるため、研磨で使用するサンドペーパーの番手（粗さ）や、塗料の調合などを微妙に変えています。マニュアルはなく、職人の経験と勘が頼りの作業です。

### 【企業の概要】

沿革 昭和50年創業、平成5年有限会社に改組、  
現商号となる。

商号 有限会社 ファニーメイク 荘内

資本金 300万円

住所 酒田市坂野辺新田字東路山320-1 ☎31-3030

代表者 代表取締役 進藤 誠

従業員数 6人

事業内容 木工家具などの塗装・塗装修理、販売

ホームページ <http://www.woodwork-dream.jp/>



塗装作業



研磨作業

テーブルの脚部分をサンドペーパーで研磨しているところです。研磨と塗装を繰り返して、品質を高めています。

くつずり下アなどの枠の床に接して戸を受ける部分のスプレー塗装です。仕上がりに応じてはけを使用します。

## 会話術の極意

婚活  
コラム

# 結婚という選択

5

●お問い合わせ／市結婚サポートセンター（交流ひろば内）  
☎26-56112

意思疎通の手段として交わされる会話ですが、初対面の人、特に異性に対して話下手になってしま

う人がいます。その原因はさまざまですが、会話が行き詰まることで気まずくなり、マイナスの印象を与えてしまうことへの不安もその一つかもしれません。

ほとんどの人は相手から受け入れられたいと思っているはずですが、そのためには、伝えたいことを笑顔で伝えることが大切です。初対面の人の前で笑顔になるのが難しいときは、心の中で笑顔をイメージすることで、和やかな会話ができるのではないのでしょうか。

また無理に飾り立てた言葉を使わずに、自分らしい表現で伝えることで、あなたの人柄が伝わりやすくなります。会話には、何から話すという決まりはありません。無駄話も立派な会話。緊張をほぐす役割があ

ります。毎日の生活や仕事で感じていること、季節や行事など、身近なことを話題にしましょう。

初対面からスムーズに話すことは難しいですが、楽しんで会話することが重要。また「会話のキャッチボール」と言われるように、相手の話を聞くことも大切です。相づちを打って共感し、話が一方通行にならないように気をつけましょう。相手の話に共感することで、会話がより楽しくなっていくと思えますよ。

### 【会話術の極意】

- 心の笑顔で伝える
  - 無駄話は無駄ではない
  - 身近な話題で楽しむ
  - 共感と会話のキャッチボール
- 今回は「プラス思考の選択」についてお話をさせていただきます。